



だのっこ



11/15 小学校の先生方が来校されました



11月15日（金）に朝日地域の先生方の研修会が本校で開催され、小学校の先生方にご来校いただき、授業を見ていただきました。

各学年とも、担任の先生の授業を見ていただいた後、皆さんが下校してから、小中の先生方が合同で話し合いを行いました。中学校を卒業する段階で必要とされる力は何なのか、その姿に到達するためにどんな力をつける必要があるか、など、各学年・年代における「目指す姿」について話し合いました。皆さんの中には、先日開催された小学校の学校祭を見に行った方も多かったので、小学校の先生方とお会いするのが久しぶり、でもな

かったかもしれませんね。小学校の先生方は、特に1年生の皆さんを見て、まだ約7か月しか経っていないのに、見違えるような皆さんの成長に驚くとともに、頼もしく感じていらっしまったようです。

日本PTA全国協議会から表彰されました



山形県教育委員会から優良PTA表彰を受けたことについては既にご報告しましたが、県からの推薦により、「地域語り合い」やアルミ缶収集をはじめとするボランティア活動、広報発行、地域行事への参加など学校、保護者だけでなく地域も一緒になって取り組んでいる点が評価され、日本PTA全国協議会からも表彰されることとなり、先日東京で開催された表彰式に出席してきました。

山形県からは本校と飽海地区の酒田市立鳥海小学校が表彰を受けました。

「地域語り合い」にも昨年以上に保護者の皆様にも参加していただきましたし、これまで中央コミセンで開催していたスマホ教室も学校を会場に実施し、生徒の皆さんにもご協力いただきました。まもなく3年生を対象に「朝日週末塾」を実施しますし、1月には、昨年雪が少なく中止した除雪ボランティアを計画しています。保護者、地域の皆様のご協力のもと、今後も学校のできることを考えていきたいと思っております。この度はおめでとうございませす。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

祝 鶴岡市青少年育成市民会議 いじめ防止啓発標語

入選 長谷川さん 清野さん

祝 第76回荘内書道展 普通部 銀賞 有賀さん 井上さん

有賀さん 井上さん

月の振り返りアンケートや教育相談の中から、皆さんの中に学校に不要物（スマホ、お菓子など）を持ってきている人がいる、という情報を寄せられたことから、期末テスト直前の大事な時期ではありましたが、学年の先生を通して、何回かお話を聞かせていただいたり、アンケートを採らせていただいたりすることにしました。

本校には、「学習に必要なものは持ち込まない」というルールがあります。原則、スマホやお菓子は不要です。

ルールは「集団の中で、誰もが安心して楽しく生活するために一人ひとりが心がけ、守らなければならない約束ごと」です。自分は何も感じないことでも、ルールを守らないことを不快に思ったり、「嫌だな」と思ったりする人がいるからルールに定められているんです。自分は周りに迷惑をかけていない、と主張しても、嫌な思いをする人がいるから定められているルールですから、それを破ること自体、迷惑になっているのです。

一人ひとり感じ方や考え方は違います。だからルールが必要なんです。

もし、アンケートなどで、「これまで持ってきたことがあるけれど、言い出せなかった」「自分も持ってきたと書けなかった」という人がいたなら、できれば申し出ていただくことでこれまでのことにけりをつけ、ここから気をつけて生活してもらいたい。申し出たからと言って、これまでの事実が消えるわけではないけれど、これまでのことにけじめをつけ、明日から周りの人はもちろん、なにより自分自身が気持ちよく生活できるようにしてもらいたい。

それは僕自身、同じような経験をしているからです。

僕は中1の時、友達が持ってきた飴をもらい、深く考えずに休み時間に友達と一緒に食べてしまったことがありました。

その時は包み紙が落ちていたことから発覚し、学年集会で先生から「関係する生徒は立ちなさい」と言われたのに立てなかった。何人か立った気がするけれど僕は立てなかった。顔をあげられなかった。

もう40年近くたった今でも鮮明に覚えているほどあの時立てなかったことを後悔しています。そんな思いをこの先抱えて生活していくより、ここでけじめをつけて、リセットして明日からわだかまりなく生活できた方が絶対にいい。そう思ったから…。

もし、ルール違反をしてもなんとも思っていないとすれば、それは危険なことなんだと教えてあげたいし、そのことで周りの人を嫌な気持ちにさせていること、そして、それが結果的に豊かな将来を少しずつ狭めていくことにつながることに気づいてもらいたい。

もし、黙っていることでモヤモヤしている気持ちを抱えているんだったら、気持ちよく明日を迎えられるよう、全部話してけじめをつけた方が絶対にいい。

そんな思いで先生方にお話を聞いていただいたり、アンケートを準備したりしていただきました。

今、我慢している人、不安や不満を抱いている人には本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。でも、僕らや誰かが見ているとか見ていないとか関係なく、みんながルールを守って安心して生活できるようにならないときと同じことが起こると思うから、誰かが見ていないところでもみんなが安心して生活できるよう、時間はかかるかもしれないけれど引き続き働きかけていきたいと思います。できれば何か僕らにできそうなこと、お願いしたいことがあれば、声をかけていただくと嬉しいです。

まだ申し出ていない人がいる前提で書いてしまいました。不快な思いをさせてしまったら申し訳ありません。

これまでも、例えばきまりで不要物とされていることでも、体調面などで学校への持ち込みについてご相談いただき、特例として認めたケースもあります。このことに限らず、何かあればご相談ください。